

いま、「しんぶん赤旗」から目が離せない

読者のみなさんへ

—— ぜひ、お知り合いにも勧めてください

—— 引き続きご購入をお願いします

まともな報道ここに

「『赤旗』はホツとする」ということです。特に最近、国会などを見てみると、理不尽なことが多すぎて、頭をかきむしりながら、床を転げ回ったような気分になり、その後で、こんなに苦しいのは、自分がおかしいのではないか、あるいは、こんな酷(ひどい)ことになってしまったのは、もうどうにもならないのではないかと、という気すらしてきます。そんな時に「赤旗」を見ると



思春期アドバイザー

あかた ちかこさん

お勧めします

「しんぶん赤旗」

「違うぞ。まだまともな人はいるぞ。まともな報道がここにあるぞ。共に立ち上がるぞ！」という気になります。いつもありがとう「赤旗」。大好きです。こんな、内容も姿勢も世界標準の「赤旗」、もっと広まってほしい。そして、今より少しでも居心地の良い世界をみんなで作っていききたいな、と思っています。(日刊紙5月28日付1面の寄稿から)

「しんぶん赤旗」読者のみなさん。お元気にお過ごしでしょうか。この間のみなさんのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

いま、「しんぶん赤旗」は、感染防止と経済活動の両立をどうはかるか、学校再開にあたって子どもたちの安全と学びをどう守るのか、コロナ禍の新たな局面にあたって、みなさんの不安にこたえる確かな情報を届けようと、全力をあげています。

「効率や競争ばかりに追いついてたてられる社会でいいのか」——コロナ危機が問う政治と社会のあり方に鋭く迫り、解決の方向を明らかにしていけるよう、深みも読みこたえもある発信を心掛けています。

「しんぶん赤旗」を守るために「協力」を

一方、この間の読者数の減少、そしてコロナ禍による打撃によって、新聞発行の継続を困難にしかねない状況が続いています。

「命と暮らしを守る『命綱』」として、コロナ危機をのりこえて新しい日本をつくる「希望の新聞」として、なくてはならない「赤旗」のネットワークを守り、広げるためにお力添えをお願いします。引き続きご購入いただきますとともに、ご家族、友人・知人などお知り合いの方に、購読を勧めてください。誠に幸いです。

しんぶん赤旗
日刊●月3497円
日曜版●月930円

連絡先